校長室だより

武生第五中学校 校長室
令和5年12月22日（金）
第22号

2学期を終えて…感謝の気持ちを大切に！

今日は終業式がありました。終業式では、次のような話をしました。

今日で、長かった２学期も終わり、２０２３年も残りあとわずかになりました。みなさん、２０２３年はどんな年でしたか。

先週の校長室だよりの「今年の漢字」で少し振り返っているので、今日は違う視点から話をしたいと思います。

今年、４年ぶりという言葉をよく聞いたと思います。先生もよく使いました。新型コロナウイルスが流行した２０２０年１月から３年間あまり、いろいろな活動が制限されました。

今年５月に新型コロナウイルスが５類に移行となり、コロナ前に戻される行事が多くなりました。東京に行くことができた修学旅行、地域の方が参加できる学校祭、実際にお会いして一緒に活動できた夢の教室、赤ちゃんの温かさを感じることができた命のぬくもり体験学習など、今年は実際に体験ができて、本当に良かったと思える行事が数多くできました。しかし、それらの行事が普通にできるようになったのは、当たり前ではありません。

例えば、体育祭、朝雨が降って一時は中止にしようかと思いました。開会式と午前中の競技は体育館で行いました。それから天気が良くなり、応援合戦やリレー、ダンスなど多くの競技を校庭ですることができました。しかし、その陰では保護者の方や先生方がグラウンドの雨水をとってくださったり、パネルなど準備物を外へ運んだりしてくださったからできたことです。行事だけではなく、日頃からいろいろな人に支えられて、みなさんは生活しているのです。

毎朝、手洗い場の掃除やごみを集めてくださる業務員さん、おいしい給食を作ってくださる調理員さん、そしてそれを運んでくださる白山の用務員さん、見えないところで多くの人に支えられて、気持ちよく生活できているのです。

一年を振り返り、多くの人に感謝の気持ちをもち、「ありがとうございます。」という言葉でその想いを伝えてほしいと思います。

体調やケガなどには十分注意して、楽しい冬休みを過ごしてください。

１月９日に元気で会えるのを楽しみにしています。